

2009年12月5日（土）、2009年～2010年度国際ロータリー第2660地区
第7組のインターシティーミーティングを開催

第7組 I M実行委員長

亀井 克二

(大阪なにわRC)

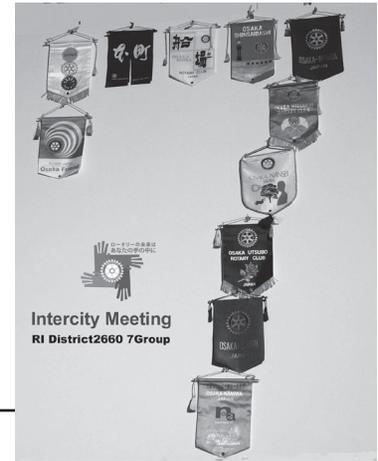
2009～2010年度国際ロータリー第2660地区
第7組のインターシティーミーティング（以下
IM）は、12月5日（土）、大阪なにわRCをホスト
クラブとして、大谷透G、松本新太郎GE、青木
禎一郎G補佐、田中壽秋G補佐Eのご臨席のもと、
スイスホテル南海大阪、浪華の間にて行われまし
た。今年度のIMのテーマは

IM第7組＝となり組 “相互理解と交友”

IMの開催主旨は、ロータリーの友にもあります
ように、地理的状态や広さなどにより地区が数ク
ラブの基準で区分されたグループ単位のクラブの
全員が集まり、合同で行う自由討論集会でありま
す。その主な内容は4大奉仕部門をしっかりとカ

バーしつつロータリーの特徴やプログラムなどを
検討し、その目的は会員相互の親睦と知識を広め
会員にロータリー情報を伝え奉仕の理想を勉強す
るために開催される、とあります。クラブ内で
IM実行委員会が発足した際、在籍年数が10年を
超える会員も多くいる委員のなかで、お隣クラブ
である10クラブについての情報は、会長、幹事
経験者ならば、会合や他クラブの訪問などの際そ
のクラブ情報を聞かれることもあるとはいえ、一
般会員はほとんど情報として入ってこない状況で
す。IMのおとなりクラブでありながら知らない
ことが多くあります。他クラブの活動内容を知る
ことで自クラブもまた、活性化をはかれるのでは





ないか、おとなりクラブを知ることでロータリー活動も親睦も深まるのではないか、そういった協議の中で今回のテーマを掲げさせていただき、11クラブにお願いしてクラブプレゼン担当者を決めていただき、協力を得て各クラブの奉仕活動やクラブ同好会活動など映像を通じ紹介していただきました。他クラブの活動内容の情報を身近に得ることで活動への関心も深まり、またその活動内容の多様性を感じることで自クラブの活動にも良い影響が得られたと考えております。討論会におきましても、討論の主題も明確になり活発な討論会になるのではないかと考えておりました

が、まさにそのとおりに感じたしております。11クラブのプレゼン担当者様はじめ皆様方には資料作りに労力をかけていただき感謝しております。その努力の甲斐もあって大変興味深い活動報告、討論会が得られました。また、昨年引き続き地区補助金を活用し、11クラブ共同奉仕活動を行うことを目的にニコニコ募金活動も行われ、参加会員から多くの募金をいただきました。その募金は7組の地域施設への福祉事業とし後日活用させていただきます。地区役員の方々、参加会員の皆様方の協力のもとに活気あるIMを実行できましたこと、心からお礼申し上げます。

